

かわさき多摩川博シンポジウム2014 が開催されました

# テーマは「人をつなげる森と川」



[1月30日]

今年も「人をつなげる森と川」をテーマに多摩市民館で開催されました。オープニングは自然を賛歌した曲のソプラノ独唱で始まり、主催者挨拶の後、山道省三NPO法人多摩川センター代表理事の基調講演です。水系・流域ネットワークの構造説明があり、パートナーシップとして「行政が変身する・市民がパワーアップする・市民と川のふれあいを増やす・市民が川づくりに参加する仕組みをつくる」などの内容でした。次に多摩川エコミュージアムの2014年度の活動報告がされました。

最後に2014年度の「エコ★カップいかだ下り」「かっぱの川流れ」「色わか」「夏万博大作戦」で多摩川を楽しんだ皆さまをパネリストに招いてのディスカッションと続きました。5人の方々に集ってもらい、自ら多摩川にかかわった体験をもとに「川の楽しさ・怖さ」など白熱した議論が交わされ、防災キャンプなどの提案も出ました。そして小さくても直ぐにでも出来そうな提案もあり、これからの団体活動や連携活動に新たなイベントが生まれそうなシンポジウムとなりました。



## まちカツ! 「広げようみんなの力 多摩のまちづくり」 [2月11日]



多摩区まちづくり協議会主催の「まちカツ」の活動発表会が多摩区役所で開催されました。井口文夫川崎河川漁業協同組合長の講演では、多摩川の水再処理の仕組み、マルタウグイの遡上や産卵場所の話など興味がわく講演内容でした。ポスターセッションでは27団体の活動発表があり、当NPO法人や多摩川博2014のパネリストのグループも参加しました。皆さん紹介時間がたりないと思われるほどの活発な発表会場となりました。

### photo pick up



2月展示：多摩川に来る野鳥展(登戸の冬鳥)



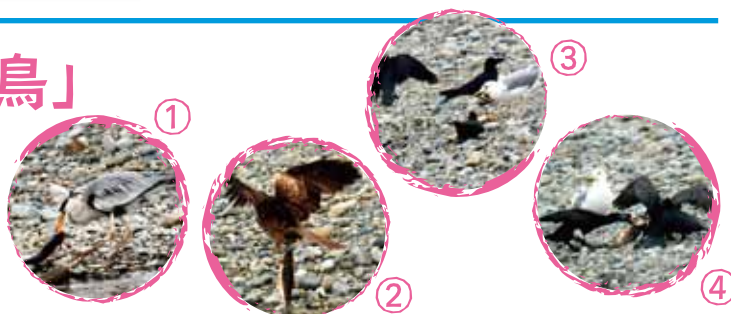
3月展示：川崎の工場夜景写真展



## 多摩川の「マルタウグイと野鳥」

多摩川縁の柳の芽も膨らむ季節となり、マルタウグイが遡上して、釣り人と野鳥を喜ばせています。

マルタ漁の担当野鳥はカワウ。そのマルタをトビとアオサギは強奪を図り、セグロカモメとカラスは略奪(おこぼれ頂戴)を図ります。この5種の野鳥が1匹のマルタをめぐる争奪戦を繰り広げ、釣り人以外の人でも楽しませてくれます。(宿河原/大野 章)



カワウが捕獲→アオサギが強奪(写真①)→トビが強奪(写真②)  
→カラスに邪魔され退散→セグロカモメがおこぼれ頂戴に登場(写真③)  
→カワウ数羽が再度参戦(写真④)